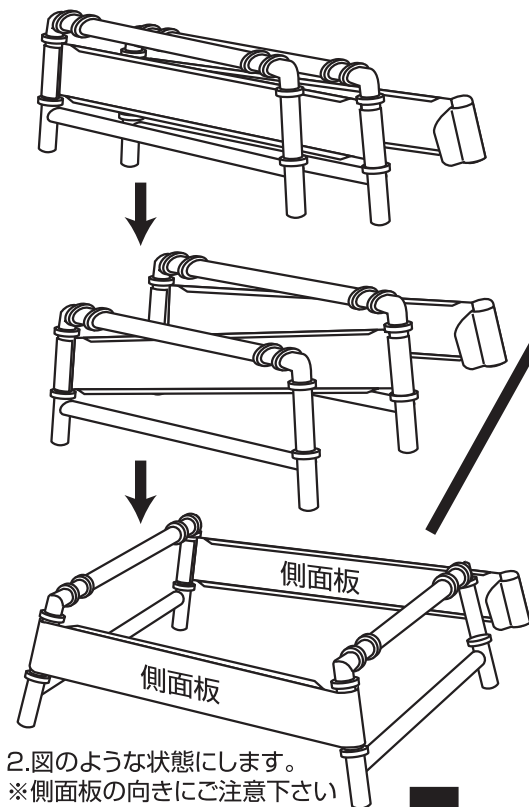


FDチューブラルグリル

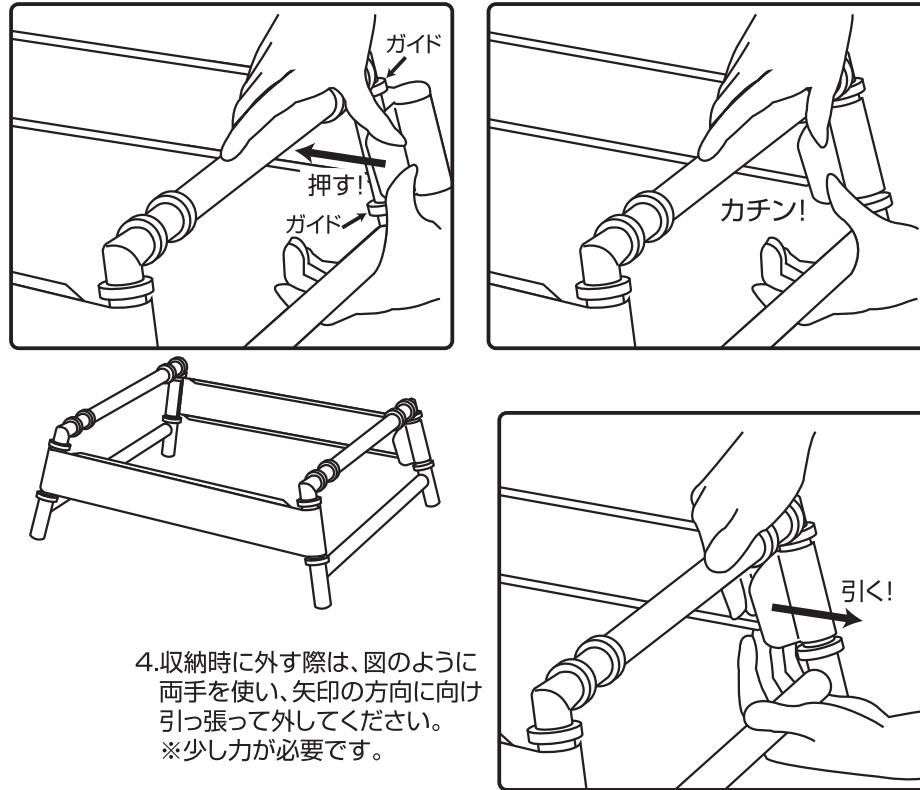
[部品構成表]		(1)	(1)
本体		(1)	底プレート
脚(短)アジャスター付		(2)	ロックバー
脚(短)		(2)	収納バッグ
脚(長)		(4)	鉄板
火床		(1)	焼き網
ロストル		(1)	

組み立て手順

1. 折り畳まれたボディを図のように広げていき



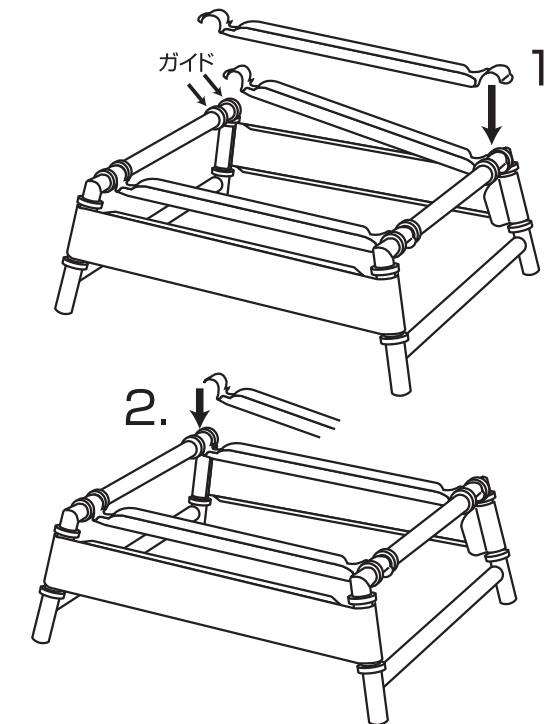
3. 図のように両手を使い側面板を取り付け部のガイドとガイドの間にはめ込みます。



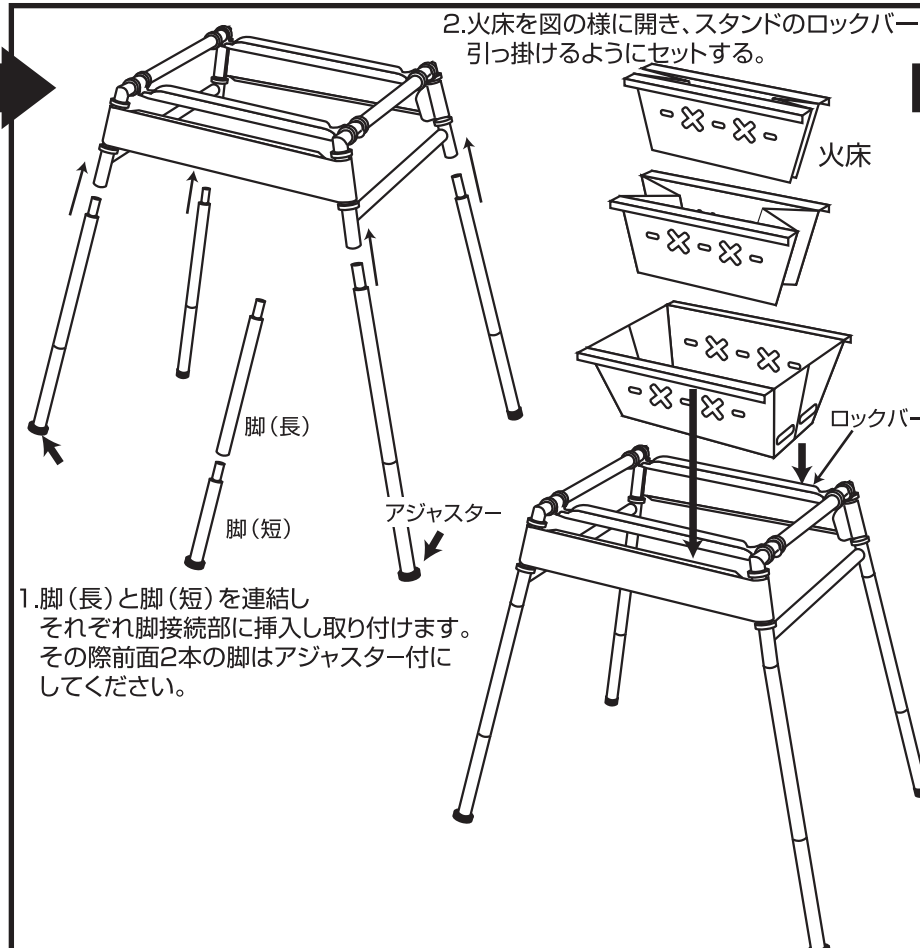
4. 収納時に外す際は、図のように両手を使い、矢印の方向に向け引っ張って外してください。
※少し力が必要です。

2. 図のような状態にします。
※側面板の向きにご注意下さい

2本のロックバーを図のように上方から押し込むようにして取り付けます。取り付け位置はガイドとガイドの間にロックバーのフック部分がくるようにしてください。
※確実に押し込み取り付けてください。取り付ける事でボディがロックされます。



2. 火床を図の様に開き、スタンドのロックバーに引っ掛けるようにセットする。



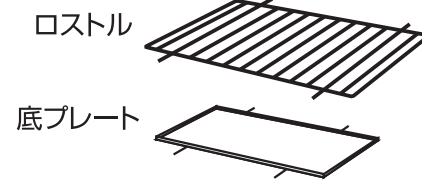
1. 脚(長)と脚(短)を連結しそれぞれ脚接続部に挿入し取り付けます。その際前面2本の脚はアジャスター付にしてください。

使用上の注意

- 禁止! 商品を素手で取り扱う事は絶対にお止めください。部分によって鋭利な場所がございます。素手の場合は怪我の原因となりますので、革手袋や軍手、洗浄の際はゴム手袋をご着用ください。また、回転する場所で指など挟まないようご注意ください。
- 禁止! 着火剤をご使用の際は、使用量にご注意下さい、必要以上に使用すると大きな炎が上がる場合があり、非常に危険です。
- 禁止! 着火剤等がスタンドに付いたりしないよう十分にご注意下さい。
- 禁止! 着火後にグリルの移動は行わないでください。
- 禁止! 使用中のグリルは高温になります。必ず耐熱性の高いグローブを着用し、絶対に素手では触らないでください。
- 禁止! 着火後は、炭がはぜたり火の粉などが跳ぶ場合がありますので、顔をなどを近づけたることはお止めください。また、燃えやすいものの周りでの使用もお止めください。
- 禁止! 着火剤や燃料としてガソリン、灯油、ガス、アルコールなど絶対に使わないでください。
- 禁止! BBQ グリルは、屋内やテント内又タープの下では使用しないでください。
- 禁止! 使用中はお子様やペットを器具の周りで遊ばせないでください。
- 禁止! 使用後野外に放置する事はお止めください。直射日光や雨により製品に不具合が生じます。
- 警告! 組立ては説明書を読み、正しく行ってください。不十分だと転倒する恐れがあります。
- 警告! 組立て、着火、調理、消火の際には革手袋等を着用し、やけどやケガに十分ご注意ください。
- 警告! ご使用後の残り火の始末には十分にご注意ください。
- 警告! 完全に燃え尽きたことを確認した後に撤収の作業を行ってください。
- 警告! 消火のために器具に水をかけると急激な温度変化により器具が変形することがあります。又、高温の水蒸気が発生しヤケドの危険にもつながりますのでお止めください。
- 注意! 塗装の施された火床は高熱によって部分的に塗装が変色します。塗装が変色した部分は錆びやすくなりますので、市販のスチール用耐熱塗料で再塗装する事をおすすめします。
- 注意! 燃料の入れ過ぎは、本体の変型やひどい変色につながる恐れがあるため、必要以上は入れないでください。
- 注意! 鉄板及び焼き網の使用後は、食べ物のカス等をきれいに取り除き、十分に乾燥させた上で食用油を塗ってから冷暗所に保管してください。
- 注意! 使用後は良く乾かし、風通しの良い冷暗所に保管して下さい。

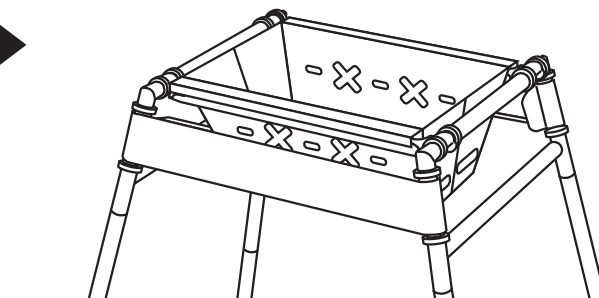
お使いになる前に...

- 鉄板と網を洗浄する。
- グローブを着用する。
- (着火方法)
- 1.ロストルの中心に着火剤を置き、その上に空気の通り道を作りながら炭を積み上げる。(ジェル状着火剤は、最下部の炭上に塗る)
- 2.柄の長いライター等で着火剤に着火する。
- 3.全ての炭が着火状態なのを確認した後、ロストル上にまんべんなく広げる。所々炭が二重に重なるぐらいが適量です。
- 4.鉄板使用時は少量の炭にし、鉄板の空焼きを防止してください。
- 5.備長炭は、着火状態の木炭を着火剤にして着火すること。
- 本品対応の換え焼き網
81063322: BBQ焼き網タイプR
- 本品対応の換え鉄板
81063323: BBQ鉄板タイプK

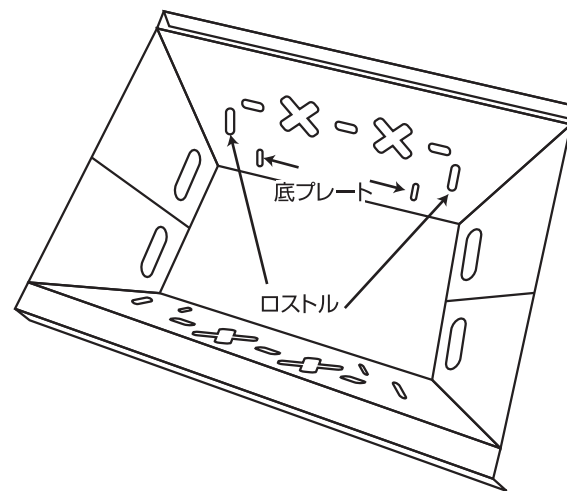


2. 高さ設定は脚(長)を使うか否かで2段階に設定できます。

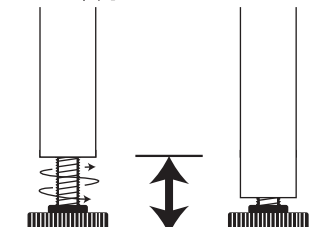
●脚(長)と脚(短)を使用



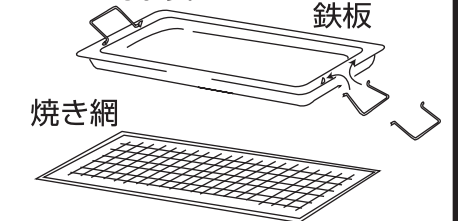
1. 底プレート、ロストルの順に火床内にセットします。それぞれのフック部分を下図の位置に差し込み固定します。



3. 接地場所に自立させ、ガタ付きが出る場合はアジャスターを調整し、安定させます。調理面が水平になっていることもご確認ください。



4. 鉄板のハンドルを取り付けます。図のように少し内側に彎曲させ鉄板側の穴に差し込んで固定します。



5. 焼き網と鉄板は状況により使い分けてください。